

平成 22 年 10 月 15 日

5 年生保護者の皆様

広島市立白島小学校

校長 松崎 良孝

## 平成 22 年度「基礎・基本」定着状況調査結果について

平成 22 年 6 月 8 日（火）、広島県内の小学校 5 年生全員を対象に、国語・算数における前学年までの学習内容の定着状況調査と、生活と学習に関する意識・実態についての質問調査を行いました。県・市・本校の通過率（％）は次表の通りです。

	広島県	広島市	白島小
国語	82.3	81.0	85.1
算数	79.0	77.6	77.7

本校では、次のように分析し、今後の指導に役立てたいと思っております。

**国語** 聞くこと・書くこと・読むこと・言語事項のすべての項目に関して基礎的、基本的な力についてはついていきます。今後は、(1)目的をもって聞いたり要点を聞き取ったりしてメモを取ること、(2)文の構成や段落の続き方を意識して文章を書く力を定着させること、(3)文章や段落相互の関係を考えながら読み取る力をつけること、(4)文の構成について、主語・述語の関係を捉えることが大切であると考えています。

そこで、集中して聞く力を育てるために、聞くときにメモをとらせたり、話を聞いた後に内容を書かせたりする活動を増やしていきます。また、文の構成や段落の続き方を意識して文章を書く力をつけるためには、見学や日常の授業の中で、繰り返し大事なことを考えてメモさせることやナンバーリングなどでまとめさせることを意識させたいと思います。また、作文や説明文など目的に応じた文章を書くときに、内容を整理する、要点を押さえる、文の構成を考えるなど、相手にわかりやすく伝えるための書き方を指導します。文章や段落相互の関係を考えながら読み取る力をつけるためには、指示語や接続語を手がかりに文章や段落相互の関係を考えさせ、理由に着目しながら的確に内容を読み取ることができるようさせていきます。また、読書活動を通して、場面の移り変わりや情景を想像できる力を養えるよう指導をしていきたいと思っております。

漢字の読み書きは、「帯タイム」や授業の中で繰り返し漢字や語句の練習をさせていきます。読書・意味調べなどを通して、語彙を増やしていくようにしていきます。

**算数** 全体的に、量と測定・図形の 2 つの領域の基礎的、基本的な力についてはついていきます。しかし、数と計算・数量関係の 2 つの領域の基礎的、基本的な力は不足しています。

今後は、(1)伴って変わる数量の関係を見いだして表現する力を養うこと、(2)分数・小数の本質的な意味を理解すること、(3)算数的活動を授業や日常生活の中で取り入れて量感を養うこと、が大切であると考えています。

そこで、図をかいて基本となる考え方を見つけさせ、その考えを使って課題解決に取り組みさせる場面を増やしていきます。また、分数・小数の本質的な意味を理解するために、線分図に表して考えさせ、数の大小のイメージをつかませていきます。

さらに量感を養うために、時刻・時間・長さ・面積などの量感を授業中で身につけさせるとともに、日常生活の中でも意識的に使わせるようにしていきます。

そのほかにも、文章題を読み取る力をつけるために、問題文を視写させたり、声に出してリズムよく読んだりさせて、学習課題を明確に意識させるようにしていきます。また、自分の考えを発表したり理由をあげて説明したりする力を養うために、学習課題を明確に意識させ、既習事項を基に自力で解決できるように考える時間を保障します。さらに、図や文章でまとめさせ、一人一人の考えを発表させる中で、合理的な解決方法に気づかせていくようにしていきます。また、発表する際必要な場合はICT機器を積極的に活用していきます。

このような学習過程を繰り返すことで、児童の自信や思考力・コミュニケーション能力を育てていきたいと思えます。

### 生活と学習に関する意識・実態調査

全体的には基本的な生活習慣はほぼ確立されていると思えます。しかし、早寝・早起き、学習習慣については、できている児童とそうでない児童との個人差があります。また、思考力について、予想したり、比較したりする意識は高いが、伝えるときの順序を考えたり、解決の方法をいくつも考えたりする意識が低い、という結果が出ています。語形を繰り返し指導し定着させ、順序立てて発表するための手だてとしたり、個人で考える時間だけでなく、ペア・グループで話し合う時間を設け、友達の考えや意見を聞き合う中で多様な考えがあることに気づかせていきます。また、学習意欲は全般的に高いのですが、読書活動についての意識が低いです。図書の時間をしっかり確保するとともに、図書室だより・読み聞かせの時間などを有効に活用し、読書の楽しさ、すばらしさを啓発していきます。

さらに児童の生活習慣をよりよいものにしていくためには、学校と家庭が互いに協力することも大切です。基本的な生活習慣の確立を図るため、「生活・学習リズムカレンダー」を効果的に活用して、児童に返していく必要があります。また、児童が自分の力で考え、自分の考えを相手に伝えていく気持ちや、ねばり強く話し合っ物事を解決していこうとする態度を育てること、自分のよさが発揮され、認められる場を多く持ち成長が自覚できるようにしていきます。

以上の点をふまえ、今後学校では、より一層の基礎・基本の定着を図るため、朝の読書・帯タイムを継続しつつ、一人一人をしっかり受けとめ、個に応じた指導を工夫しながら授業の充実を図りたいと考えています。

子どもたちに確実な力をつけるため、ご家庭でも機を逃さず、肯定的な声かけなどはげまして、やる気を引き出し、自信をもって学習に取り組めるようご協力をお願いいたします。

なお、お尋ねになりたい点がございましたら、お気軽に学校へお問い合わせください。

( 2 2 1 - 3 0 1 2 教頭 正岡 )

また「ホットライン教育ひろしま」(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline/syoutyu.htm>)にて、広島県全体の結果速報等をお知らせしておりますのでご覧ください。

(参考...過去4年間の通過率(％))

	平成 18 年度			平成 19 年度			平成 20 年度			平成 21 年度		
	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小	広島県	広島市	白島小
国語	78.3	78.1	79.7	64.2	63.7	63.4	67.4	66.4	65.6	75.0	74.0	68.1
算数	80.2	79.0	76.4	75.6	75.8	72.9	76.1	75.8	74.5	79.8	78.4	75.6